

1. 略歴

- 1985年3月 九州大学文学部史学科朝鮮史学専攻卒業
- 1987年3月 九州大学大学院文学研究科（史学専攻）修士課程修了
- 1989年3月 九州大学大学院文学研究科（史学専攻）博士後期課程中途退学
- 1989年4月 九州大学文学部助手（～1992年3月）
- 1992年4月 久留米大学文学部専任講師（～1995年3月）
- 1995年4月 久留米大学文学部助教授（～1996年3月）
- 1996年4月 九州大学文学部助教授（～2000年3月）
- 2000年4月 九州大学大学院人文科学研究科助教授（～2002年3月）
- 2002年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（～2007年3月）
- 2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授（～2015年3月）
- 2015年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（現在に至る）

2. 主な研究活動

a 専門分野

朝鮮中世・近世史

b 研究課題

朝鮮王朝（1392-1910）時代の水運史や財政史・経済史などを中心に研究している。現在の主たる研究課題は、(1) 朝鮮前期漕運制研究、(2) 朝鮮中世・近世海事史研究、(3) 朝鮮中世・近世「水環境」研究、(4) 朝鮮時代財政史研究、(5) 朝鮮時代古文書研究などである。(1)の漕運制とは朝鮮時代における官営の税穀船運機構であり、朝鮮初期におけるその整備・変遷過程や運営実態等を明らかにする作業に取り組んでいる。(2)は(1)から派生したもので、朝鮮の前近代史を「海」とのかかわりで再構成するという問題意識から、済州島民の海難関係記録の分析を通じて彼らの海上活動の実態や異国への漂流・漂着をめぐる諸問題、朝鮮時代の海防体制や「水賊」などについて研究している。(3)は(2)をさらに発展させ、広く人と「水」とのかかわりを明らかにしようとするもので、当面は漢江をはじめとする河川の管理・利用という側面を主たる対象として、水運だけでなく、渡船や漁撈、さらには治水・水利といった点も含めて「水環境」史の構築をめざしている。(4)は、朝鮮後期に施行された新税制である大同法を、その運用実態を地方財政との関連に注目しながら研究しているほか、朝鮮初期の財政制度の性格や、朝鮮時代全般にわたる地方財政の運用方式なども研究の対象としている。(5)は日本各地の諸機関に所蔵される朝鮮古文書の調査である。2016年度から2017年度にかけては、これらのうちとくに(1)(3)(4)の課題を中心に研究を進めた。またこれらのほか、山川出版社の世界歴史大系シリーズとして企画された『朝鮮史1（先史時代—朝鮮王朝）』の執筆準備と執筆作業にも従事した。

c 概要と自己評価

まず上記研究課題の(1)については、朝鮮初期における漕運の歴史的な性格を考察した論文「朝鮮初期の漕運—制度の整備過程と運営実態からみたその歴史的な性格—」を須川英徳編『韓国・朝鮮史への新たな視座 歴史・社会・言語』に寄稿した。次に(3)については、2010年度から2013年度にかけて「朝鮮半島の「水環境」をめぐる社会・経済・文化の歴史的諸相—漢江を中心として—」というテーマで日本学術振興会から科学研究費補助金の支給を受けていたが、これをさらに発展させた研究課題が2016年4月に科学研究費補助金の交付対象に採択された。「朝鮮環境史の創成にむけた河川の管理・利用に関する総合的研究」（基板研究(B)：課題番号16H03486）がそれである。2016年4月から2020年3月まで4年間にわたる研究課題であり、その活動として2016年度は漢江中流域と錦江・万頃江流域、2017年度は洛東江流域で現地調査を実施するとともに関連資料の収集などをおこなった。(4)については、14世紀末の朝鮮建国の功労者で、新王朝の設計図を描いた鄭道伝が朝鮮初期の財政制度に及ぼした影響について検討し、その成果を2016年8月に韓国・ソウル市のプレスセンターで開催された第3回三峯学国際学術大会「鄭道伝と東アジア新秩序構築」において「朝鮮初期の財政制度と鄭道伝」と題して報告した。また朝鮮初期に朝鮮半島南東部沿海地域に設けられた三浦（富山浦・乃而浦・塩浦）に来航する倭人使節に対して朝鮮政府が支給した倭料（食糧や滞在費用）の調達方式と財源の問題を、三浦が所在する慶尚道内の官穀事情とも関連させながら考察し、その成果を2017年12月に開催された九州史学会大会で報告するとともに論文「朝鮮初期三浦倭料の調達方式と財源」として『年報朝鮮学』20に寄稿した。最後にその他として、山川出版社による世界歴史大系『朝鮮史1（先史時代—朝鮮王朝）』の第六章（朝鮮初期）と第七章（朝鮮中期）の執筆準備作業と実際の執筆にも相当の時間を割いた。

d 主要業績

(1) 著書

- (共著) 須川英徳 (編)、『韓国・朝鮮史への新たな視座 歴史・社会・言語』、勉誠出版、2017.5
(共著) 李成市・宮嶋博史・糟谷憲一 (編)、『朝鮮史1 (先史—朝鮮王朝)』、山川出版社、2017.10

(2) 論文

六反田豊、「朝鮮初期三浦倭料の調達方式と財源」『年報朝鮮学』、20、1～36頁、2017.12

(3) 学会発表

- (国際) 六反田豊、「조선초기의 재정제도와 정도전 (朝鮮初期の財政制度と鄭道伝)」、제3회 삼봉학 국제학술대회「정도전과 동아시아 신질서 구축」(第3回三峯学国際学術大会「鄭道伝と東アジア新秩序構築」)、プレスセンター (韓国ソウル市)、2016.8.25
(国内) 六反田豊、「朝鮮初期三浦倭料の財源と調達方式」、九州史学会平成29年度大会、九州大学、2017.12.10

(4) 講演

(国内) 六反田豊、「15世紀朝鮮の税穀水運」、2016年度第4回東京大学コリア・コロキウム、東京大学、2017.2.23

(5) 監修

- 六反田豊、『韓国ドラマ・ガイドオクニョ運命の女第1巻』、講談社、2017.3
六反田豊、『韓国ドラマ・ガイドオクニョ運命の女第2巻』、講談社、2017.6
六反田豊、『韓国ドラマ・ガイドオクニョ運命の女第3巻』、講談社、2017.9
六反田豊、『韓国ドラマ・ガイドオクニョ運命の女第4巻』、講談社、2017.12

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

- (非常勤講師) 国際基督教大学、「韓国史」、2016.4～2016.6、2017.4～2017.6
(非常勤講師) 学習院大学、「東洋史特殊講義」、2017.4～2018.3
(非常勤講師) 朝日カルチャーセンター横浜教室、「朝鮮王朝の歴史」、2016.7～2017.3、2017.7～2018.3

(2) 学会

- (国際) 韓国中世史学会、地域理事、2016.3～
(国内) 朝鮮学会、常任幹事、編輯委員、2016.4～
(国内) 朝鮮史研究会、幹事、編集委員長、2016.4～
(国内) 韓国・朝鮮文化研究会、運営委員、2016.4～、会長、2016.4～2017.9、編集委員長、2017.10～

(3) 学外組織 (学協会、省庁を除く) 委員・役員

- (教育機関) 釜山大学校民族文化研究所、『韓国民族文化』編集委員、2016.3～2018.2
(その他) 公益財団法人東洋文庫、研究員 (兼任)、2016.4～2018.3
(その他) NHK 教育テレビ「高校講座世界史」、講師、2016.4～2018.3